

アジア政経学会

平成24年度（2012年度）事業概要報告書

（1）法人移行に向けた手続き

①以下の手続きを行い、平成25年4月1日付にて一般財団法人へ移行した。

- * 制度的整備および内規整備に努め新定款を定めた。
- * 移行手続きを滞りなく進め、透明性を担保したかたちで業務の改革に努めた。
- * 基本財産を充実させ、円滑な事業実施に資するとともに、内部留保を適正な水準にした。
- * 学会ホームページおよびニューズレターを活用し、学会および法人移行に関する情報を積極的に公開し、会員の理解が得られるよう努めた。

（2）平成24年度理事会の開催

①理事会の開催

第1回：4月7日（土）、第2回：5月19日（土）、第3回：7月14日（土）、
第4回：9月1日（土）、第5回：10月13日（土）、第6回：12月1日（土）、
第7回：2月23日（土） にそれぞれ開催した。

（3）大会、研究会の開催

①東日本大会〔開催日：5月19日（土）、主催校：大東文化大学板橋キャンパス〕

- * 共通論題1「米中対峙下のASEAN」（報告者3名、討論者2名）
- * 共通論題2「交錯するアジアの「ソフトパワー」」（報告者3名、討論者1名）
- * 分科会「アジア諸国の対外援助—新しいアプローチ」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題1「アジアの文化産業」（報告者2名、討論者1名）
- * 自由論題2「中国と中国共産党の対外関係」（報告者2名、討論者2名）
- * 自由論題3「地域経済発展」（報告者2名、討論者1名）

②西日本大会〔開催日：6月9日（土）、主催校：広島市立大学〕

- * 共通論題「欧州債務危機とアジアの政治経済」（報告者3名、討論者2名）
- * 企画分科会「基層社会からみた人民共和国」
（書評報告者1名、報告者2名、コメント1名）
- * 自由論題分科会（1）「グローバル化の進展と経済政策」（報告者3名、討論者2名）
- * 自由論題分科会（2）「近現代アジア外交史」（報告者3名、討論者2名）
- * 自由論題分科会（3）「セーフティネットと市民社会」（報告者3名、討論者2名）

③全国大会〔開催日：10月13日（土）・14日（日）、主催校：関西学院大学〕

- * 共通論題1「北朝鮮問題と国際社会」（報告者4名、討論者1名）
- * 共通論題2「金満アジアの課題」（報告者3名、討論者2名）
- * 国際シンポジウム「What does '1972' mean to the Sino-Japanese relations?」（報告者3名、討論者2名、日本語・英語同時通訳つき）
- * 分科会1「キャッチアップ再考」（報告者3名、討論者1名）
- * 分科会2「中国とアフリカをめぐる国際関係」（報告者2名、討論者1名）
- * 分科会3「南アジアとイスラーム—知的ネットワークと民衆運動」（報告者3名、討論者1名）
- * 分科会4「東南アジアにおけるアブラヤシ・プランテーション拡大の政治経済学—要因、構造、言説」（報告者3名、討論者1名）
- * 分科会5「中国の内政と外交の相互連関—文革後期から改革開放にかけての政治過程」（報告者3名、討論者1名）
- * 分科会6「現代アジア農村の課題—農家調査からの視点」（報告者3名、討論者2名）
- * 分科会7「マレーシア東方政策の30年—政策に対するレビューと提言」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題1「韓国の経済と日韓関係」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題2「中国の社会団体とローカル政治」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題3「東アジアの金融とエネルギー」（報告者2名、討論者1名）
- * 自由論題4「アジアの金融」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題5「越境する企業」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題6「台頭する中国」（報告者3名、討論者1名）
- * 自由論題7「東南アジア・南アジア社会」（報告者3名、討論者2名）
- * 自由論題8「中国経済の転換」（報告者2名、討論者1名）
- * 自由論題9「アジアの政治」（報告者3名、討論者2名）

※各大会の内容は学会ニューズレターで詳しく紹介されており、各ニューズレターは学会ホームページ（<http://www.jaas.or.jp>）でも公開されている。

（4）『アジア研究』刊行

- * 『アジア研究』第57巻第4号 〔平成23年10月付刊行〕
- * 『アジア研究』第58巻第1,2合併号 〔平成24年4月付刊行〕
- * 『アジア研究』第58巻第3号 〔平成24年7月付刊行〕

※各会誌も同様に学会ホームページ（<http://www.jaas.or.jp>）でも公開されている。

(5) 国際交流の推進

①国際ワークショップ “A Quest for Asian Studies of the 21st century”

〔開催日：7月7日（土）、開催地：立教大学〕

*主催：ドイツアジア学会、ベルリン日独センター、アジア政経学会

*共催：フリードリッヒ・エーベルト財団、立教大学アジア地域研究所、日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)(2011-2013年度)(研究代表者:竹中千春)

②国際シンポジウム “China’s Role in Asia”

〔開催日：7月8日（日）、開催地：国際文化会館〕

*主催：ドイツアジア学会、ベルリン日独センター、フリードリッヒ・エーベルト財団、アジア政経学会

*共催：朝日新聞、公益財団法人 国際文化会館、立教大学アジア地域研究所、日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)(2011-2013年度)(研究代表者:竹中千春)

(6) 学会ホームページとニューズレターの充実

*ニューズレターの充実に努め、研究大会報告の内容を豊富にした。

*ホームページの英文版を設け、内容的にも充実化を図った。

(7) 定例研究会の開催

*第8回：4月7日（土）13：00～14：50 慶應義塾大学三田キャンパスにて開催
（報告者2名、討論者2名）

*第9回：12月1日（土）13：00～14：50 慶應義塾大学三田キャンパスにて開催
（報告者2名、討論者2名）

(8) 会員数

*2013年3月31日現在、総会員数は1241名である。

（内訳：維持会員3、名誉会員11、一般会員1158、優待会員69）

*2013年3月31日現在、上記総計のうち休会者数は35名である。ただし、本人の最終確認が取れないまま長期にわたって連絡が取れない会員を含む。

（内訳：一般会員33、名誉会員1、優待会員1）

*2013年3月31日現在、上記総計のうち住所不明者は12名である。

（内訳：一般会員11、名誉会員1）

*所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

以上